

# 外 来 診 療 の 案 内

令和7年1月現在

院長（兼）総合診療科部長（兼）地域医療連携室長（兼）医療安全管理室長 田中 修也  
副院長（兼）小児科部長 水流 尚志 事務長 久永 勇一 総看護師長 梶原 貴美

【診療科部長】 呼吸器内科部長 中塩屋 二郎 循環器内科部長 吉野 聰史 脳神経内科部長 有村 仁志

診 療 科	月	火	水	木	金
内 科	応援医師（終日）	園田 理子 (日高 将氣)	馬渡 浩史	園田 理子 (日高 将氣)	宇都 寛高
	リウマチ・膠原病外来（終日）			駿河 幸男	
	糖尿病外来（終日）		福重 恵利子		
	肝臓外来（終日）		長谷川 将 (第2, 4週)		
生活習慣病 予防健診・ドック				宇都 寛高 園田 理子	
呼吸器内科（午前）	呼吸器内科医師3名（田中 修也, 中塩屋 二郎, 宇都 寛高）				
呼吸器外科（午前）		前田 光喜			
循環器内科	初診	吉野 聰史	内門 義博	吉野 聰史	吉野 聰史
	再診	馬渡 浩史			内門 義博
脳神経内科	午前	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志
	午後	もの忘れ認知症外来	脳ドック		
脳神経外科					鹿大応援医師 (第2, 4週)
小児科	午前	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志	水流 尚志
		柏村 優花	柏村 優花	柏村 優花	柏村 優花
	午後	初診・再診受付 14時～16時	健診・予防接種 13時30分～15時	初診・再診受付 14時～16時	心エコー検査 応援医師（第4週）
放射線科（読影のみ）		応援医師（終日）			応援医師（午前）
腹部エコー	午前	検査室	検査室	検査室	
心エコー	内門 義博	馬渡 浩史	内門 義博	吉野 聰史	馬渡 浩史
頸部エコー			放射線部（午後） 脳ドック		有村 仁志（午後） 第3週は不可
シンチ	終日	脳血流シンチ	骨シンチ	心筋シンチ	腫瘍シンチ/骨シンチ
内視鏡	午前／上部消化管			軸屋 賢一	
	午後／下部消化管	重田浩一郎 肱黒 薫		軸屋 賢一	
気管支鏡	午後		呼吸器内科医師		
CT・MRI	終日	終日	終日	終日	終日

鹿児島県立北薩病院

〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人502-4

TEL : 0995-22-8511 FAX : 0995-22-6785

0995-22-9397(地域医療連携室)

Mail : hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※受診について、小児科以外は原則予約制  
となっています（内科は完全予約制）。待ち時間短縮のため、電話での予約をお願い  
します。

○電話予約：午後2～5時まで



## さ ざ ん か

～県立北薩病院だより～

新春号  
No.220

### ○ レスパイト入院について（ご案内）

レスパイトには、「休息・一時休止・息抜き」という意味があります。  
在宅で介護をされている家族（介護者）の事情により、一時的に患者さんの介護が  
困難となった場合などに、短期間の入院ができます。



### ○ こんなときご利用ください

- 介護で疲れがあり、暫く家族（介護者）も休みたい。
- 冠婚葬祭など急な事情が発生した。
- 家族（介護者）が病気になってしまい介護が難しい。
- 旅行など出かける。
- その他
  - ・リハビリテーションを希望。
  - ・持病はあるが介護保険がなく、自宅での生活に不安や心配があり一時的に入院をしたい。
  - ・介護保険を利用予定だが、準備までの間、自宅での生活は難しい。
  - ・ショートステイの利用ができない。
  - ・独居や高齢世帯で、生活環境を整える間、入院したい。



### ○ 利用期間について（ご相談ください）

☆ 期間は、1日～60日の期間で利用できます。☆

☆ 1泊2日といった短期間でも利用できます。☆

！ 注意 !

当院のレスパイト入院は、自宅等への退院が原則となっております。  
自宅退院できない方は対象になりません。

お困りな点は、地域医療連携室へ個別にご相談下さい。

（ご相談はご本人・ご家族・担当ケアマネージャーなど、どなたからでもかまいません）

☎ 0995-22-8511

平日の午前8時30分から午後5時までにご連絡ください。





## 認定看護師の紹介



当院には、4分野の認定看護師が在籍しています。  
今回は、「感染管理」認定看護師について紹介します。

### ○ 感染管理認定看護師とは？

感染管理認定看護師は、患者さんや医療スタッフを感染から守るために必要な専門知識を持つ看護師です。

#### ～感染管理認定看護師の主な役割～

- 感染対策・管理を行う体制を整備する
- 感染症の発生状況を把握し、感染対策改善に役立てる
- 職員の感染対策技術面の指導や相談対応
- 患者さんとその家族、医療スタッフに感染症が発生した場合の対応
- 抗菌薬（抗生物質）の適切な使用に向けて取り組み、薬剤耐性菌の発生を予防する
- 地域の医療機関や高齢者施設等との連携により、地域の感染対策向上を推進する

など

### ○ 具体的にどのような活動をしていますか？

感染管理認定看護師は、感染対策チーム（ICT）と一緒に、次のような感染管理の活動を行っています。



手指衛生の啓発

手指衛生が正しい方法で、適切なタイミングに実施できるよう、研修や手洗い残しチェック、ポスターによる啓発などをおこなっています。

#### ICT

適切な感染予防策を実施できるよう、感染対策マニュアルを作成し、各部署に設置しています。ガイドラインの改訂や病院の体制変更などに伴い、随時改訂を行っています。

マニュアルの整備



感染対策が、マニュアルどおりに実施されているか、ラウンドを行います。

感染対策ラウンド

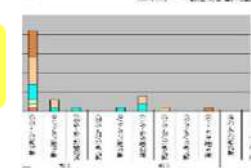


感染対策について、全職員を対象に研修会を行っています。必要に応じて、部署別の研修会も行っています。

研修会

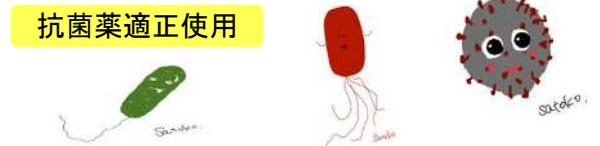
コロナやインフルエンザ、薬剤耐性菌などの発生状況を把握し、感染対策の改善に役立てています。

サーベイランス  
(感染発生状況の監視)



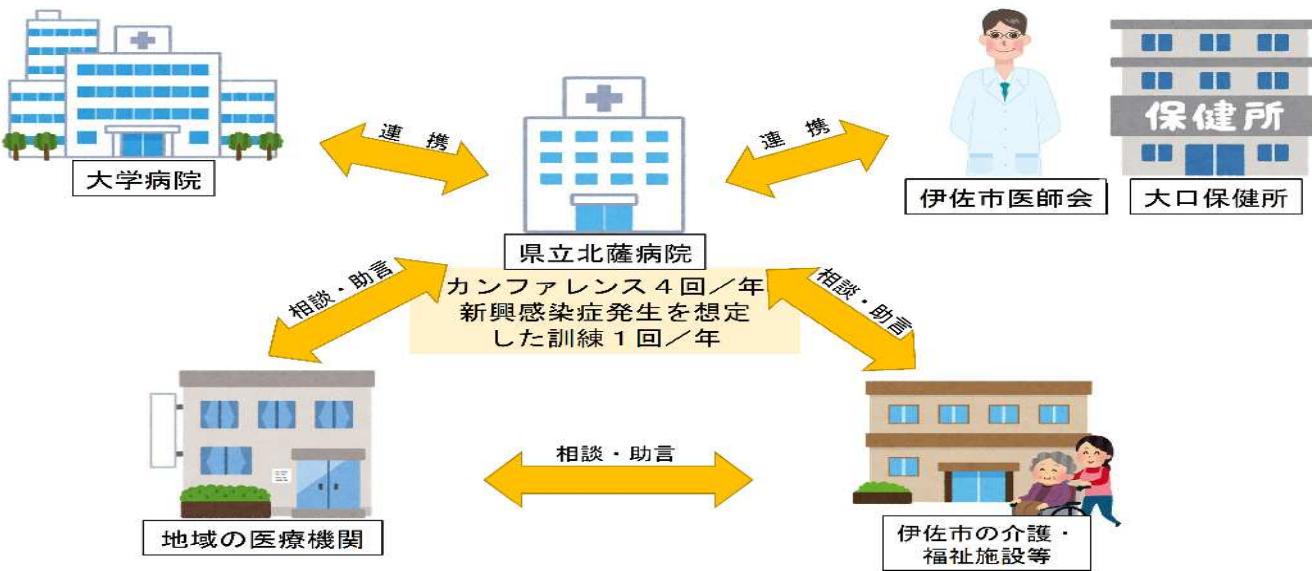
抗菌薬（抗生物質）の使用状況などをモニタリングし、薬剤耐性菌発生防止に向けて取り組んでいます。

抗菌薬適正使用



### ○ 感染対策地域連携って？

地域全体の感染対策の向上を目指し、地域の医療機関と感染対策の連携を行っています。主に、大学病院をはじめとする医療機関や保健所、伊佐市医師会などと連携し、定期的にカンファレンスや新興感染症対応訓練などを行っています。また、地域の医療機関や介護・福祉施設等からのコンサルテーションへの対応や出前研修などを行っています。



### ○ 活動で意識していることは？

医療関連感染対策における目的は、感染症から患者さん・職員を守ること、そして感染を広げないことです。感染を持ち込まない、持ち出さない、広げないために感染対策を実施することが重要であると考えています。なお、実際に、感染対策を実施するのは現場のスタッフですので、各現場で実施可能な対策を、現場の管理者やスタッフと一緒に考えることを大切にしています。

### ○ 今後の目標は？

薬剤耐性菌や新型コロナウイルス感染症などの感染症、新興感染症の発生に備えるためには、平時から感染対策を標準的に実施することが重要です。中でも、手指衛生・マスク着用をはじめとする標準予防策が特に重要であると考えています。

そのため、私たちは、今後も適切に感染対策が実施できるような環境を整え、人材の育成に取り組んで行きたいと思います。

#### 認定看護師による 出前研修のご案内

当院では、伊佐地域の医療・看護の知識の向上を目指すため、施設・団体等へ認定看護師による出前研修や施設内ラウンドを実施しています。

詳しくは、当院の医療安全管理室へお問い合わせください、当院のホームページをご覧ください。

なお、講師費用は無料です。

#### ○ 当院に在籍する認定看護師の分野

- (1) がん化学療法看護認定看護師
- (2) 精神科認定看護師
- (3) 緩和ケア認定看護師
- (4) 感染管理認定看護師

